

能登原まちづくり推進委員会

委員長 門田 均

（問合せ先） 084-987-4460（能登原交流館）

事業内容

- (1) 生涯学習事業（5月～3月に10回×7講座 能登原交流館で実施 559人）
- (2) 環境美化事業
能登原クリーン作戦（6月17日・10月21日 能登原地域内海岸清掃 181人）
各地区花壇整備（通年 5自治会 60人）
- (3) 健康及び福祉事業 いきいきサロン（5月～3月 毎月1回 191人）
グラウンドゴルフ（7月15日 あぶと健生苑 31人）
ペタンク（10月28日 旧能登原小学校グラウンド 32人）
健康ハイキング（2月18日 唐樋門・内海大橋藤棚・春辺橋 27人）
- (4) 安心安全事業（11月26日 各自治会一次避難場所避難行動 備蓄品点検 480人）
- (5) ふれあい事業
のとはら大マジックショー（6月4日 能登原交流館で実施 80人）
ふれあいまつり（11月8日～14日 コンサート、合唱、絵手紙、俳句など活動発表・展示会 600人）
ふれあい運動会（10月15日 認定こども園のとはらと地域住民の合同で実施 300人）
- (6) とんどまつり（1月14日 6自治会で練り歩き後、旧小学校に集合 約550人）
- (7) 人・まち・ふくしまルシェ2023（10月29日 沼隈サンパル、沼隈支所等で実施 約5,000人）
- (8) 沼隈町駅伝大会（1月21日 沼隈グラウンドを主会場に実施 1,000人）
- (9) まちづくり推進委員会運営事業（定例会の開催23人×12回、各種広報活動400世帯）

〔のとはら大マジックショー〕

〔ふれあい運動会〕

〔能登原クリーン作戦〕



成果

長くコロナ禍で制限を受けていた様々な事業が、能登原小学校が閉校になった影響を受けながらも、地域や各種団体の協力を得て、以前のように実施することができた。

課題・課題解決にむけて

若い人を中心にした人口の減少や各種事業がコロナ禍でしばらく制限されたことにより、事業の維持・継続がより困難になっている。事業の見直しや統廃合、組織の再編などに取り組み、地域の活性化につながる事業の展開に努めていく必要がある。

コロナ禍を越えて 頑張ろう「のとはら」

4年ぶりに「能登原とんどまつり」開催



コロナ禍での3年間は、自治会内を担いで練り歩くことや旧能登原小学校に6基を揃えることをあきらめ、各自治会で飾り付けの少ない簡易なとんどを製作するだけの実施となっていました。しかしコロナ禍を越えた今年、4年ぶりに従前通りの「能登原とんどまつり」を実施し、伝統文化を継承することができました。

期 日 2024年（令和6年）1月14日（日）

場 所 旧能登原小学校グラウンド及び能登原地域内

参加者 550人

事業内容 12月初旬頃から 6自治会それぞれでとんど製作

当日 10時 各自治会でとんどを仕上げ、自治会内を練り歩き

14時 旧能登原小学校グラウンドに6基集合

6基の披露と紹介、担ぎ回しとぶつけ合い

16時 各自治会で火入れ

特徴 (1) まつりの4年ぶりの完全実施

(2) 想青学園からとんどと生徒の参加

(3) 町内に勤める海外研修生による担ぎ手支援（12人参加）

